

# 平成23年度 佐瑠女杯サッカー大会

期 日 平成 23 年 8 月 17 日 (水)  
少雨決行  
会 場 朝熊公園グラウンド(2 面)



主 催 猿 田 彦 神 社 敬 神 青 年 会  
主 管 NPO伊勢サッカー協会少年部

# 平成 23 年度 佐瑠女杯サッカー大会 要項

## 1. 趣 旨

佐瑠女神社(御祭神:天宇受売命)に参拝し、明るく素直で豊かな心、生き生きとした活動の出来る人であるように、そしてサッカーの技術向上・病気けがの無きよう祈願し「あめのうずめの命」の見守る中、参加チームが競い合い技術向上と親睦を図る。

## 2. 期 日

平成23年8月17日(水) 少雨決行(AM6:30に現地会場にて検討し決定)

## 3. 会 場

伊勢市・朝熊天然芝グラウンドの2面(A・Bコート)を使用

## 4. 参 加

U-9 (小学3年生以下) 14チーム

( ISE YAMATO、五十鈴、一色、伊勢 MTK、小俣1、小俣2、  
城田、SAN、四郷、修道、玉城、御菌、明倫、有緝 )

## 5. 試 合

8~11人制(対戦チーム相互で相談)とする。試合時間は12分-4分-12分

コートサイズ 50m×60m

## 6. 表 彰

優勝2チーム : (トロフィー、賞状) × 2チーム分

準優勝2チーム : トロフィー × 2チーム分

最下位2チーム : 試合球1球ずつ

全チーム : 記念タオル&ジュースを各チーム15個×14チーム分

※優勝2チームは試合終了後18:00頃から猿田彦神社にて表彰式があります。

(可能な限り全選手、参加お願いします。)

## 7. 試合規定

<競技規則>

原則として「JFA8人制サッカー競技規則」に準ずるが、大会運営のため次の規定を設ける。

- (1) 自由な交代制を採用する。
- (2) 試合途中で30秒間を目安に水分補給を行う、その際時計は止めない。
- (3) ゴールキック時、ペナルティエリア内でキック・スローを可能とする。(FS方式)
- (4) グリーンカードを導入する

### <試合形式>

A・Bリーグで各チーム3試合ずつ勝ち点方式のリーグ戦を行い、各々のリーグで優勝を決定する。(勝ち点:勝ち3点・引き分け1点・負け0点)

勝ち点と同点の場合は、得失点・総得点・3vs3のPKの順で順位を決定する。

### <審判について>

審判(主審)は、審判員資格を有する、またはそれに準ずる者とし、審判服着用のこととする。

## 8. その他

### 集 合

午前8時20分に選手は各団3~5名(一台の車に乗れる人数で)猿田彦神社に集合し参拝。時間厳守でお願い致します。

この際、代表者(大人1名)の玉ぐし拝礼と代表選手(子ども1名)の選手宣誓があります。今年は昨年度Aブロック優勝のYAMATOさんです。選手宣誓をしてくれる選手氏名を当日までに、小山まで報告お願いします。

参拝後、朝熊公園グラウンドへ移動。

### 設 営

午前8時00分より各チームより男性1名、天然芝グラウンドにお願いします。

### 代表者会議

※ 午前9時00分より本部テントにて行います。

※ 必要があれば、会場にて連絡の上、随時も行います。

### 開 会 式 ・ 始 球 式

午前9時15分より開会式を行います。選手は本部前に整列。

午前9時30分より猿田彦神社敬神青年会の方による始球式をグラウンドにて行う。

(予定では、A・Bコートにそれぞれ選手・審判が整列し、本部前より試合球をコートに蹴り入れて頂く。)

### 閉 会 式

すべての試合終了後直ちに本部前にて行います。

「猿田彦神社」の方よりその夜のイベントの案内があります。

## その他

- ・ 進行をスムーズに行うため、試合後の選手挨拶後は、その場でそのまま横一列になり、ピッチ中央からのベンチに向かっての挨拶のみとし、お互いのベンチ前での挨拶はなしとする。また、次の試合の出場チームはベンチ裏で待機して準備しておく。
- ・ 保護者の応援は、指定されたエリアからとし、ベンチには指導者 3 名以内とします。
- ・ 本部担当5名、各チーム指導者3名の方へ弁当が出ます。(計 47 個)
- ・ 大会中止の場合は、午前6時30分頃に各団へ連絡網により連絡します。
- ・ 駐車場所は各団徹底頂き、野球場横の公園駐車場や路上には駐車禁止です。近隣に迷惑を掛けないようにお願いします。(駐車場は天然芝グラウンド横とブランカさん横の空き地です)

※各自、暑さ対策をお願い致します。

## 参 考

### 天宇受売命 (あめのうずめのみこと)

天照大御神が天岩窟 (あめのいわや) にこもられたときに神楽をされ、大御神再び現れて平和な世を迎えられたと伝えられます。

天孫降臨の際は猿田彦大神と最初に対面、大神が御啓行の後は詔 (みことのり) により、ともに伊勢に来られ、功により、“媛女君 (さるめのきみ)” の称号を受けられました。俳優(わざおぎ)、神楽、芸能、鎮魂の祖神 (おやがみ) と仰がれます。